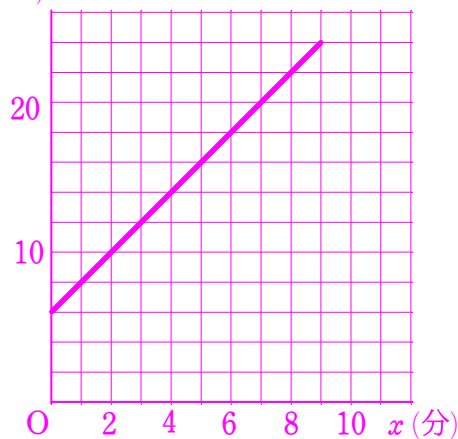
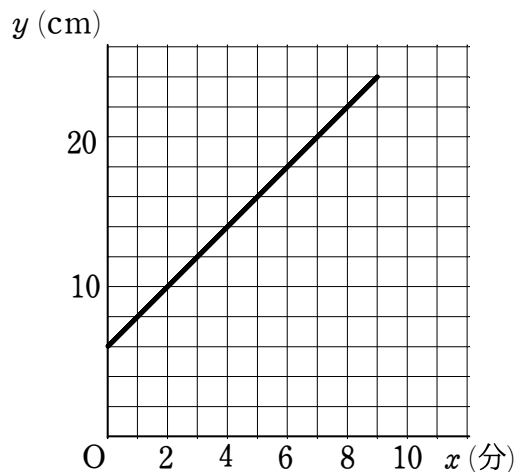


1次関数（水面の高さ）

- 1 答え (1) 6 cm (2) $y = 2x + 6$ (3) $0 \leq x \leq 9$
(4) y (cm)



- (1) 4分後の水面の高さ14 cmから、4分間での水面の上昇分をひけばよい。
 $14 - 2 \times 4 = 6$ (cm)
- (2) (1)より、 $x = 0$ のとき $y = 6$ であるから、求める式は $y = ax + 6$ とおける。
変化の割合は2であるから $a = 2$
よって $y = 2x + 6$
- (3) 水面の高さが24 cmになるのは、 $y = 2x + 6$ に $y = 24$ を代入して
 $24 = 2x + 6$
 $x = 9$
よって、 x の変域は $0 \leq x \leq 9$
- (4) グラフは右のようになる。



- 2 答え $y = -5x + 80$

80 Lの水が16分でなくなるから、1分間になくなる水の量は

$$80 \div 16 = 5 \text{ (L)}$$

よって、このグラフは傾きが -5 、切片が80の直線であるから

$$y = -5x + 80$$